

第 2 1 回 環 境 自 治 体 会 議

ひ お き 会 議

～ 白 砂 青 松 と ウ ミ ガ メ の 里 吹 上 浜 か ら の 発 信 ～

● 期 日 : 平 成 25 年 5/30 (木) ・ 31 (金) ・ 6/1 (土) ● 会 場 : 日 置 市 伊 集 院 文 化 会 館 ほ か

未 来 へ つ な ご う
自 然 と の 共 生



主 催 環 境 自 治 体 会 議 ひ お き 会 議 実 行 委 員 会 環 境 自 治 体 会 議 ・ 日 置 市

参 加 の ご 案 内

【と き】 平 成 25 年 5 月 30 日 (木) ・ 31 日 (金) ・ 6 月 1 日 (土)

【と ころ】 鹿 児 島 県 日 置 市 日 置 市 伊 集 院 文 化 会 館 ほ か

【主 催】 環 境 自 治 体 会 議 ひ お き 会 議 実 行 委 員 会 / 環 境 自 治 体 会 議 / 日 置 市

【後 援】 九 州 地 方 環 境 事 務 所 / 鹿 児 島 県

ごあいさつ

このたび、日置市において第21回環境自治体会議ひおき会議を開催する運びとなり、皆様にご案内を申し上げることを大変うれしく思います。

日置市は、鹿児島県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市に、北はいちき串木野市と薩摩川内市に、南は南さつま市に隣接し、また、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と東シナ海に面しています。

また、妙円寺詣りや流鏑馬、せつぺとべに代表される歴史的な伝統行事と薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有しています。これらの資源を活用しながら、「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」をめざすため、環境問題にも取り組んでいます。

私たち実行委員は、この会議を通じて参加された皆様が一体となり、環境保全に取り組んでいく良い機会になればと願っております。

皆様のご参加を実行委員一同心からお待ちいたしております。

第21回環境自治体会議ひおき会議

実行委員長 西 隆一郎

会員自治体（55自治体）（2013年3月現在）

〔北海道〕	ニセコ町	斜里町	士幌町
〔秋田県〕	能代市	藤里町	大瀧村
〔山形県〕	酒田市	金山町	高島町
	庄内町	遊佐町	
〔茨城県〕	古河市	東海村	ひたちなか市
	那珂市		
〔埼玉県〕	和光市		
〔千葉県〕	市原市		
〔東京都〕	足立区	八王子市	日野市
	福生市	小笠原村	
〔新潟県〕	湯沢町		
〔福井県〕	敦賀市	勝山市	坂井市
	若狭町		
〔長野県〕	飯田市	千曲市	
〔岐阜県〕	多治見市		

〔静岡県〕	三島市		
〔三重県〕	松阪市		
〔滋賀県〕	高島市	東近江市	
〔京都府〕	八幡市		
〔大阪府〕	豊中市	枚方市	交野市
〔兵庫県〕	伊丹市		
〔奈良県〕	生駒市		
〔山口県〕	宇部市		
〔愛媛県〕	新居浜市	内子町	
〔高知県〕	梶原町		
〔福岡県〕	柳川市	筑後市	大川市
	古賀市	大木町	
〔熊本県〕	水俣市	天草市	
〔宮崎県〕	綾町		
〔鹿児島県〕	日置市	屋久島町	
〔沖縄県〕	読谷村		

1 会議日程 以下、敬称略

第1日目 5月30日(木) 全体会(会場:日置市伊集院文化会館)

11:00	受付開始
12:30	オープニングセレモニー 鹿児島城西高校
13:00	開会式 <ul style="list-style-type: none">開会宣言 実行委員長環境自治体会議代表幹事あいさつ歓迎あいさつ 日置市長 日置市議会議長来賓あいさつ
13:30	基調講演「吹上浜を中心とした生物と環境とのかかわり」 <ul style="list-style-type: none">講師:四宮 明彦 (元鹿児島大学水産学部教授)
14:30	休憩
14:45	ひおき会議の論点提起
15:15	パネルディスカッション テーマ 「人や環境資源を活かし、協働で進める持続可能な地域づくり ～ 元気な首長大集合 ～」 コーディネーター 田中 充 (法政大学社会学部教授)
16:45	終了

第2日目 5月31日(金) 分科会(各会場) & 交流会(東市来屋内レクリエーション施設こけけドーム)

8:30	分科会受付開始(各会場)
9:00	分科会 (イントロ編⇒フィールドワーク・/応用編⇒総合討論)
12:00	昼食 (各分科会会場)
13:00	分科会 (イントロ編⇒フィールドワーク・/応用編⇒総合討論)
17:00	各分科会終了
18:00	交流会 (日置市東市来屋内レクリエーション施設こけけドーム)
20:00	交流会終了
20:30	ウミガメパトロール(人数制限:希望者120人)
22:30	ウミガメパトロール解散

第3日目 6月1日(土) 全体会(会場:日置市伊集院文化会館)

9:00	受付開始
9:30	記念講演「ないものねだりをやめてあるものさがしー地域を元気にする地元学のおすすめー」 地元学ネットワーク主宰 吉本 哲郎
10:30	パネルディスカッション「地域資源の活かし方・つなぎ方ー持続可能な地域づくりの秘訣を語る!」 司会 中口 毅博(環境自治体会議事務局長)
11:30	環境自治体会議総会報告
11:40	ひおき会議宣言採択
11:50	次期開催地あいさつ(北海道ニセコ町)
12:00	閉会
12:15	オプションツアー(希望者のみ)

2 分科会について (2013年3月15日現在) ※今後、内容は変更する場合があります。

(1) 分科会内容

第1分科会 テーマ：公共部門の環境配慮 会場：クリーンリサイクルセンター
コーディネーター：秋元 智子(全国グリーン購入ネットワーク 理事)

イントロ編：会員自治体を中心に公共部門（役所の事務や事業）の環境配慮の事例を紹介する。例えば、電気・ガス・燃料等の削減方法、その検証をどのようにするかについて、日置市の例も含めて検討する。

フィールドワーク：毘沙門(びしゃもん)災害跡地～丸山喜之助商店

応用編：これまで取組まれてきた庁舎の省エネだけでなく、物品調達による他地域に及ぼす間接的な環境負荷低減により、域内取引企業のグリーン化を進めるためのデータ整備や事例に基づいて議論する。

第2分科会 テーマ：エネルギー 会場：日吉老人福祉センター
コーディネーター：石窪奈穂美(消費生活アドバイザー)、倉阪秀史(千葉大学法経学部 教授)

イントロ編：2012年から施行されている固定価格買取制度(FIT)をはじめ、全国のエネルギー分野の現状と課題をふりかえり、日置市内のメガソーラー建設や集落全員参加による地球温暖化対策の事例を紹介する。

フィールドワーク：大和電機太陽光発電～大田発電所(水力)

応用編：エネルギー事業を大手事業者の資本に頼るのではなく、市民の力や地域間連携でエネルギー事業やCO₂削減を進める事例を通じ、エネルギー政策を地域活性化への結び付く方策について議論する。

第3分科会 テーマ：交通と都市基盤 会場：鶴丸地区公民館
コーディネーター：那須清吾(高知工科大学 起業家コース 教授)ほか

イントロ編：各地の交通環境分野の現状と課題を整理し、自治体におけるデマンド交通の事例、第三セクター鉄道の事例、エコドライブ等事業者の取組みを紹介する。

フィールドワーク：ユタカ産業(事業者としてのエコドライブの実践)

応用編：笹子トンネル崩落事故を再び起こさないために、財政難で苦しむ自治体が交通インフラの維持管理をどのように進めるべきかを、地域協働や地域活性化の視点から議論する。

第4分科会 テーマ：水環境 会場：東市来文化交流センター
コーディネーター：小山次郎(鹿児島大学水産学部 附属海洋資源環境教育研究センター 教授)ほか

イントロ編：会員自治体を中心に、全国の水資源・水環境保護に関する活動を紹介する。

フィールドワーク：尾木場集落

応用編：下水道中心の生活排水処理を見直し、浄化槽を市町村の財産としてとらえて設置した事例や地元企業を活用した事例、市民から見た生活排水処理の視点などを通して、新たな方向性について討議する。

第5分科会 テーマ：生物多様性 会場：吹上砂丘荘
コーディネーター：浜本奈鼓(NPO法人くすの木自然館専務理事)ほか

イントロ編：自然保護活動と行政との関係を切り口として、日置におけるウミガメ保護パトロールや天然記念物保護、観察会などの取組み、始良市を中心に全国発信するNPOくすの木自然館の活動を紹介する。

フィールドワーク：千本楠～吹上浜

応用編：環境自治体会議の共通目標に掲げられた「地域を代表する動植物」をどう設定しどうモニタリングしていくかを、生物多様性保全地域戦略の策定や市民による生物モニタリングの事例を基に討議する。

第6分科会 テーマ：廃棄物・資源循環

会場：東市来文化交流センター

コーディネーター：花嶋温子（大阪産業大学人間環境学部生活環境学科 講師）

イントロ編：九州を中心とした地域における、ごみ減量やリユースの取組み事例を紹介し、現状を把握する。また、リサイクル率が高位の市、産学官による焼酎粕のゼロエミッション研究などを紹介する。

フィールドワーク：西酒造

応用編：行政依存型の廃棄物処理の転換を目指し、市民・事業者・行政の望ましい役割分担について、リユースびんの利用や事業者を巻き込んだ廃棄物抑制、市民の容器包装への提言などの事例を基に討議する。

第7分科会 テーマ：地域資源活用型まちづくり

会場：日置市中央公民館

コーディネーター：白井信雄（法政大学地域研究センター 特任教授）

イントロ編：地域資源をどのように発掘し、どのようにブランド化していくかをテーマに、地元・東市来のグリーンツーリズムに加え、九州を中心とした環境自治体会議会員自治体の事例をとりあげ紹介する。

フィールドワーク：尾木場集落

応用編：有機農業の推進や環境にやさしい商品と消費者ニーズの関係、エコツーリズムの事例を基に、地域資源を活かした「環境にやさしいブランド」現状・課題と今度の方向について討議する。

第8分科会 テーマ：環境行政

会場：クリーンリサイクルセンター

コーディネーター：山本武（LAS-E判定委員） 西寺雅也（名古屋学院大学経済学部 教授、前多治見市長）

イントロ編：自治体EMSの変遷をふりかえり、独自EMSの取組み、市民による環境基本計画の進行管理の事例を基に、政策点検に効果的かつ市民ニーズに即した新たなEMSのあり方を検討する。

フィールドワーク：浜田橋～山神の郷

応用編：環境基本計画や地方自治法改正で見直しが迫られている総合計画をどのように結びつけ、持続可能な地域づくりを進めるべきか、政策をどのように評価し、煩雑な進行管理をスリム化するかを検討する。

第9分科会 テーマ：環境学習

会場：吹上中央公民館

コーディネーター：小栗有子（鹿児島大学生涯学習教育研究センター 准教授）ほか

イントロ編：効果的に環境教育を進めるため、行政側から学校へのアプローチをどうすべきか、あるいは、幼児から成人まで発達段階に応じた環境教育のあり方について、日置市内や全国の事例を基に検討する。

フィールドワーク：吹上浜（松の植栽）～伊作和紙体験

応用編：ESD（持続可能な発展教育）や地元学による地区単位の環境学習、題材や方法を工夫し参加者拡大に成功した事例を通じ、環境学習をいかに地域づくりやコミュニティ再構築につなげるかについて討議する。

第10分科会 テーマ：地域協働

会場：ゆすいん

コーディネーター：平岡俊一（北海道教育大学 講師）、高橋秀行（岩手県立大学総合政策学部 教授）

イントロ編：環境を切り口としたパートナーシップ活動の取組み事例として、NPO江口浜ビーチサービスなど、地元と全国の事例を織り交ぜて紹介する。

フィールドワーク：美山陶遊館

応用編：全国環境パートナーシップ組織調査結果にみる組織形態や自立度・影響度とその変遷や、自治会と連携した事例等を基に、環境パートナーシップ組織の課題や果たすべき役割について討議する。

(2) 分科会の掛け持ちについて

今回の大会から、分科会間で「応用編⇒総合討論」または「イントロ⇒FW」の掛け持ちができます。掛け持ちできる分科会は、【分科会一覧】のとおりです。(フィールドワークは、FWと表示しています。)

例1) 午前の部に第1分科会の「応用編⇒総合討論」、午後の部に第8分科会の「応用編⇒総合討論」に参加できます。参加申込書に「1-8」と御記入ください。

例2) 午前の部に第8分科会の「イントロ⇒FW」、午後の部に第1分科会の「イントロ⇒FW」に参加できます。参加申込書に「8-1」と御記入ください。

例3) 掛け持ちせずに、その分科会だけの参加もできます。参加申込書に分科会番号「8」と御記入ください。

※ 第2分科会と第3分科会では、掛け持ちできません。

【分科会一覧表】

分科会名		午前の部	午後の部	分科会の掛け持ち
第1分科会	公共部門の環境配慮	応用編 ⇒総合討論	イントロ⇒FW	} この分科会で掛け持ち できます。
第8分科会	環境行政	イントロ ⇒FW	応用編⇒総合討論	
第4分科会	水環境	イントロ ⇒FW	応用編⇒総合討論	} この分科会で掛け持ち できます。
第6分科会	廃棄物・資源循環	応用編 ⇒総合討論	イントロ ⇒FW	
第5分科会	生物多様性	イントロ ⇒FW	応用編⇒総合討論	} この分科会で掛け持ち できます。
第9分科会	環境学習	応用編⇒総合討論	イントロ⇒FW	
第7分科会	地域資源活用型まちづくり	応用編⇒総合討論	イントロ⇒FW	} この分科会で掛け持ち できます。
第10分科会	地域協働	イントロ⇒FW	応用編⇒総合討論	
第2分科会	エネルギー	イントロ⇒FW	応用編 ⇒総合討論	掛け持ちできません。
第3分科会	交通と都市基盤	イントロ⇒FW	応用編⇒総合討論	掛け持ちできません。

3 参加申込方法・参加費支払方法

<申込方法>

参加申込書に必要事項を記載の上、次のいずれかの方法でお申し込みください。

※ ①～③のいずれの場合も下記の宛名をお願いします。

宛名	第21回環境自治体会議ひおき会議実行委員会事務局 日置市市民福祉部市民生活課内
----	--

① 郵送 〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地

② FAX 099-246-5055

③ メール kankseisaku@city.hioki.lg.jp

※ 申込書を添付し、タイトルを「ひおき会議申込書」としてください。

④ 持参 日置市役所1階 市民生活課

※ 電話によるお申し込みはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

※ 参加申込書は、日置市公式ホームページからもダウンロードできます。

日置市公式ホームページアドレス<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

<申込期間>

平成25年4月24日（水）必着でお願いします。

<参加費>

- ・ 県外参加者
 - (1) 会員自治体からの参加 18,000円（税込）（首長、職員、議員、市民合わせて5名まで）
内訳： 大会資料代、総会資料代、移動費、交流会費、分科会昼食代等
 - (2) その他の参加者 20,000円
内訳： 大会資料代、移動費、交流会費、分科会昼食代等・・・16,000円（税込）
NPO環境自治体会議環境政策研究所への寄付金・・・一口4,000円
 - ・ 県内参加者 2,000円（会議資料代、移動費等 税込）
 - ・ 市民参加者 無料（日置市内に在住・在学・在勤の方、市内団体に所属する方含む）
- ※ 県内参加者及び市民参加者で分科会昼食及び交流会を申し込まれる方は、別途、分科会昼食代1,000円、交流会費3,000円が必要となります。

<参加支払方法>

- ・ 参加申込をされた方には、4月下旬に「申込確認書」と「請求書」を送付します。内容をご確認の上、到着後10日以内に指定の口座へお振り込みください。振り込み手数料はお申し込みいただいた方のご負担とさせていただきますのでご了承ください。
- ・ 5月10日（金）になっても申込確認書と請求書が届かない場合は、お手数ですが、実行委員会事務局までご連絡ください。
- ・ 領収書は会議初日の受付でお渡しします。

<変更・取り消し>

- ・ 申し込みいただいた内容の変更及び取り消しについては、郵送またはFAX、メールで、実行委員会事務局までご連絡ください。
- ・ 参加を取り消された場合は、キャンセル料と振込手数料を差し引いた金額を、ひおき会議終了後に返金いたします。
- ・ 電話による変更、取り消しはお受けできませんので、ご了承ください。

キャンセル料

取消日	5月22日まで	5月23日～ 29日まで	5月30日以降 または連絡なし不参加
県外参加者	なし	5,000円	全額
県内参加者	なし	2,000円	2,000円

※ 県内参加者及び市民参加者の昼食代・交流会費は、5月22日までキャンセルを受け付けます。それ以降は、準備の関係で返金できませんので御了承ください。

4 持ち物

- (1) 申込確認書（4月下旬に送付します）
- (2) マイ箸（当会議をより環境に配慮した会議とするため、ご協力ください）

5 昼食

5月30日(金)、31日(土)の昼食(お弁当)および交流会での夕食については、事前に申し込みされた方のみ準備しています。申し込みをされない方は、各自で対応していただきますようお願いいたします。

なお、弁当の受け渡しについては、各分科会会場で確認の上お渡しいたします。

6 会場のご案内

【全体会】

日置市伊集院文化会館	日置市伊集院町郡一丁目100番地	099-273-4111
------------	------------------	--------------

【分科会】

第1分科会	クリーンリサイクルセンター	鹿児島市入佐町2319番地	099-292-5850
第2分科会	日吉老人福祉センター	日置市日吉町日置1132番地1	099-292-2321
第3分科会	鶴丸地区公民館	日置市東市来町長里184番地	099-274-2511
第4分科会	東市来文化交流センター	日置市東市来町長里3253番地3	099-274-7701
第5分科会	吹上砂丘荘	日置市吹上町今田1004番地3	099-296-2330
第6分科会	東市来文化交流センター	日置市東市来町長里3253番地3	099-274-7701
第7分科会	日置市中央公民館	日置市伊集院町郡一丁目100番地	099-273-1919
第8分科会	クリーンリサイクルセンター	鹿児島市入佐町2319番地	099-292-5850
第9分科会	吹上中央公民館	日置市吹上町中原2568番地	099-296-2124
第10分科会	ゆすいん	日置市伊集院町野田1557番地	099-272-0105

【交流会】

東市来屋内レクリエーション施設こけけドーム	日置市東市来町湯田700番地1	099-274-9211
-----------------------	-----------------	--------------

7 駐車場

各会場の駐車可能台数には限りがございますので、乗り合わせや公共交通機関などの利用をお願いいたします。

8 会場位置図

別紙

9 オプションツアー

ひおき会議では6月1日（土）の午後から「オプションツアー」を開催します。

このオプションツアーは、明治維新の立役者の一人が眠る「小松帯刀公墓所」（園林寺跡）、長い歴史の伝統技法と先代の魂を伝承し、最新のテクノロジーを活かした「小正醸造」、薩摩焼の里に建設された自然に親しむための体験型レクリエーション施設「美山陶遊館」を巡ります。

ツアー代金	お一人様 2,000円（保険・昼食代を含む）
定員	20名
申込方法	参加申込書の「オプションツアー」欄に参加する場合は○を、参加しない場合は×を記入してください。
支払方法	事務局で申込確認後、申込確認書を送付いたします。その際、請求書を同封させていただきますので、会議参加費と一緒にお振り込みください。

【行程】 全行程バス移動

12:15（出発）伊集院文化会館



12:40（到着）えぐちほうらいかん江口蓬莱館

江口蓬莱館は東市来町の農林水産業の振興と活性化を

図るため平成15年にオープンしました。

江口漁港に水揚げされた新鮮な魚介類、鮮度そのままに調理されたレストランメニューをご堪能ください。館内の加工施設で加工した塩干物等の加工品、町内の生産農家が丹精込めて育んだ農産物の販売もあります。

↓
昼食会場
(50分)



13:30（出発）江口蓬莱館



13:50（到着）こまつたてわき小松帯刀の墓と園林寺跡

↓
(25分)



日置市の中でも中央に位置する日吉町吉利に、大河ドラマ「篤姫」の放映で一躍脚光を浴びた、小松帯刀が眠る「園林寺跡」があります。周辺には田畑が広がり、のどかな山里の風景が今もなお残っています。

14:15（出発）小松帯刀の墓と園林寺跡



14:30（到着）小正醸造

↓
(60分)



焼酎業界で初めて焼酎を榿樽に貯蔵し、1959年「メローコヅル」として商品化、以降榿樽貯蔵焼酎のパイオニアとして「メローコヅル・エクセレンス」などが高く評価されています。米製や麦製の焼酎を榿樽に貯蔵するに限らず、芋焼酎もカメ壺で貯蔵し、貯蔵技術に特色のある製造元です。

15:30（出発）小正醸造



15:50（到着）美山陶遊館

↓
(50分)



竹林に囲まれ、屋根裏に円形の建物が印象的で平成8年にオープンした美山の新しいシンボリック的存在。気軽に薩摩焼の陶芸体験が楽しめます。陶工の指導を受けながらろくろ・手ひねりが体験でき、家族連れやグループ、女性に大変人気があります。

16:40（出発）美山陶遊館



17:00（到着）伊集院文化会館

11 宿泊施設のご案内

- 1 ひおき会議に参加される方へ下記の宿泊施設をご案内しています。
日置市内の宿泊所は、キャッシュバックキャンペーンを行っていますので御利用ください。

※ キャッシュバックキャンペーン御利用の方はレンタカーを御使用となりますが、大会期間中は、送迎バスを御利用いただき、環境に配慮した会議となりますよう御協力ください。

	宿泊施設名	住所	連絡先	料金	備考
1	潮彩旅亭 えぐち家	下記に表示有り			
2	江楽園	東市来町湯田2294	099-274-2819	1泊2食 6,500円～	
3	旅館 遠見	東市来町湯田3408	099-274-2027	〃 6,500円～	
4	旅館 やまさ	東市来町湯田3122-3	099-274-0778	〃 7,000円～	
5	湯之元荘	東市来町湯田3212	099-274-2004	〃 8,000円～	
6	玉利屋旅館	伊集院町徳重371-16	099-272-2009	〃 6,500円～	
7	国民宿舎 吹上砂丘荘	下記に表示有り			
8	健康交流館 ゆーぶる吹上	吹上町中原763	099-296-6022	〃 5,180円～	10名以上で宿泊可能
9	みどり荘	吹上町湯之浦910	099-296-2020	〃 14,745円～	
10	新湯温泉	吹上町湯之浦1194	099-296-2250	〃 9,000円～	
11	中島温泉旅館	吹上町湯之浦1106	099-296-2073	〃 9,110円～	
12	もみじ温泉	吹上町湯之浦2503	099-296-5959	〃 4,280円～	
13	花屋旅館	吹上町中原2475	099-296-2028	〃 7,000円～	
14	恩宿アラジンのランプ	吹上町与倉3171-13	099-296-3816	〃 4,200円～	

※ ウミガメパトロールに参加される方は、できる限り日置市内の宿泊所を御利用ください。

※ 他にも宿泊所がありますので、日置市公式ホームページから「観光ガイド」⇒「温泉・宿泊マップ」で宿泊所を検索ください。

※ 同一団体で2名以上の参加がある場合は、できる限り相部屋をお願いします。

- 2 新幹線や飛行機を御利用の方で鹿児島市内に宿泊される方は、旅行代理店を通じて次の宿泊所を御利用ください。鹿児島中央駅西口から全体会・分科会会場への送迎バスをご利用できます。

(1) 鹿児島中央駅付近のホテルになります。

	宿 泊 所			料 金
①	J R九州ホテル鹿児島	鹿児島市武1丁目1番2号	電話099(213)8000	¥6,825
②	鹿児島東急イン	鹿児島市中央町5番1号	電話099(256)0109	¥7,350
③	ホテルタイセイアネックス	鹿児島市中央町4番32号	電話099(257)1111	¥7,350
④	ホテルアービック鹿児島	鹿児島市武1丁目3番1号	電話099(214)3588	¥6,825
⑤	シルクイン鹿児島	鹿児島市上之園町19番30号	電話099(258)1221	¥6,825
⑥	ホテルユニオン	鹿児島市西田2丁目12番34号	電話099(253)5800	¥6,300

(2) 料金等について

料金は、1泊朝食付きの料金(税込み)、お部屋は、禁煙・喫煙混合になります。

(3) 旅行代理店について

次の旅行代理店を通じてお申し込みください。

(有)鹿児島観光(空港営業所) 担当者/柿本 TEL0995-64-2385 FAX0995-64-2386

3 環境自治体会議総会及び懇親会へ参加される方は、送迎バスの関係で、次を御利用ください。
実行委員会事務局で宿泊所を割り振りしますので、直接の申し込みはできません。

(1) 潮彩旅亭 えぐち家 日置市東市来町湯田731番地 電話099-274-1173

(1泊1食(朝))		部屋数	定員	宿泊日	1名様	2名様	3名様
2階	一般室	7	3名	5/30	¥11,850	¥9,850	¥7,350
				5/31	¥13,850	¥11,850	¥9,350
3階	一般室	8	3名	5/30	¥13,850	¥11,850	¥9,850
				5/31	¥15,350	¥13,350	¥11,350
4階	特別室	4	3名	5/30	¥16,350	¥14,350	¥12,850
				5/31	¥18,350	¥16,350	¥15,350

(2) 国民宿舎 吹上砂丘荘 日置市吹上町今田1004-3 電話099-296-2330

	宿泊日	料金	宿泊日	料金
2階和室	5/30(1泊2食(夕・朝))	¥7,430	5/31(1泊1食(朝))	¥5,730

※ 同一団体で2名以上の参加がある場合は、できる限り相部屋をお願いします。

※ 単独の参加で相部屋を御希望される方は、実行委員会事務局へ連絡ください。

4 その他

(1) お申し込みの際には、必ず環境自治体会議に出席する旨をお伝えください。

(2) 上記以外に宿泊される方も送迎バス利用を案内していますので、実行委員会事務局へ連絡ください。

第21回環境自治体会議ひおき会議 参加申込書(記入例)

自治体 団体名	日置市役所 所属団体を記入 してください。	ふりがな 氏名(担当者)	ひおき たろう 日置 太郎
住 所	〒899-2592 鹿児島 都・道 府・県 日置 市・区 郡		
	伊集院町郡一丁目100番地 昼間に、連絡が取れる番号を記入してくだ さい。(携帯番号可)		
電話番号	099-273-2111(内線)1141	FAX番号	099-246-5055
Eメールアドレス (自治体必須)	kankseisaku@city.hioki.lg.jp	交通手段	車 バス JR
希望宿泊先	(第1希望) ホテル○○○	(第2希望)	□□□ホテル
備 考			

ふりがな 参加者氏名	役職	5月30日(木)			5月31日(金)					6月1日(土)	
		昼食	全体会	総会	分科会			交流会	カパ トル	全体会	ボ ッ ク
					第1希望	第2希望	昼食				
ひおきじろう 日置 次郎	市民生活課 課長	○	○	○	1-8	1	○	○	×	×	×
ひおきはなこ 日置 花子	市民生活課 補佐	○	○	○	10-7	4-6	○	○	○	○	○
ひおきたろう 日置 太郎	市民生活課 係長	×	○	×	6	5	○	○	×	○	○

個人の場合は無記入で、団体の場合は役職を記入してください。

総会の対象は、会員自治体のみです。参加は○を不参加は×をそれぞれ記入してください。

午前中は第4分科会、午後は第6分科会に参加を希望される場合は、「4-6」と記載してください。

参加の場合は○を、不参加の場合は×をそれぞれ記入してください。

- ※ 会場周辺は食事処が少ないので、1日目(5/30木)は済まされて御参加ください。なお、お弁当の注文をお受けしますが、別途1,000円の料金が必要です。
- ※ 全体会等への参加の場合は○、不参加の場合は×を記入し、参加する分科会番号を記載してください。
- ※ 個人で参加される場合は、太枠のみをご記入ください。
- ※ 該当するところのみをご記入ください。
- ※ 団体の場合は、担当者様に連絡させていただきます。



白砂青松吹上浜

未来へつなごう 自然との共生
白砂青松とウミガメの里 吹上浜からの発信

【お問い合わせ先】

第21回環境自治体会議ひおき会議実行委員会事務局

日置市市民福祉部市民生活課内

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地

電話 099-273-2111 (内線1141) FAX 099-246-5055

メールアドレス kankseisaku@city.hioki.lg.jp

日置市公式ホームページ <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

〈日置市伊集院文化会館 周辺案内図〉



【日置市の代表的な祭】

歴史と文化のまち日置市では、祭りも多彩。伝統ある祭りから、近年取り組みの始まった郷土の美しさを知る祭りまで、一度は訪れたいものばかりだ。



鹿児島三大行事のひとつ。関ヶ原の戦いにおいて敵中突破を敢行した島津義弘を祭る徳重神社（廃物毀積以前は妙円寺）にお参りする行事。太平の世でもある江戸時代において、士気を鼓舞し、心身を鍛練することを目的として鹿児島城下の武士によって始められた。現在も鎧兜に身を固めた人々など多くの参拝者で賑わいを見せている。（期日/10月第4日曜日と前日）

妙円寺詣り



約400年くらい前から地域に伝わるといわれるお田植え祭りのひとつ。田植え前の御神田において、若い衆が円陣を組みながら飛び跳ねるといふもの。これは、土をこねる足踏み耕と害虫を踏み潰す意味があるといわれる。祭りの際、八幡神社から登場する大王殿（デオードン）は必見。（期日/6月第1日曜日）

※「せつぺとべ」は「精一杯飛べ」の意

せつぺとべ



慶長3（1598）年に朝鮮より連れ帰った陶工らが移り住んだ美山（苗代川）でおこなわれる。薩摩焼のイベントとしては最大のお祭り。地域に点在する窯元では、様々なメニューや企画が用意されていて、薩摩焼のふるさとをまるごと楽しむことができる。県内外から多くの薩摩焼ファンが訪れ、秋の一日を楽しんでいる。

（期日/11月初旬）

美山窯元祭り



地域活性化を目的に住民の手づくりで始まったこのイベントには、県内外から多くの人々が訪れる一大イベントに成長した。

夕焼けで赤く染まる頃、一斉にたいまつに炎が灯されると、のどかな田園地帯に一万本ものたいまつが光の海をつむぎ出し、見る者を幻想的な世界へと誘う。

ステージでは、迫力ある太鼓演奏やライブイベントが繰り広げられ、響く音に心を熱くし、ゆらめく炎に心を癒される秋の一大イベントだ。

（期日/10月初旬）

山神の響炎



第21回環境自治体会議ひおき会議 参加申込書

自治体 団体名		ふりがな 氏名(担当者)	
住 所	〒 ー	都・道 府・県	市・区 郡
電話番号		F A X 番号	
Eメールアドレス (自治体必須)		交通手段	車 バス J R
希望宿泊先	(第1希望)	(第2希望)	
備 考			

ふりがな 参加者氏名	役職	5月30日(木)			5月31日(金)				6月1日(土)		
		昼食	全体会	総会	分 科 会			交流会	かみ トリール	全体会	オプショナル ツアー
					第1希望	第2希望	昼食				

- ※ 会場周辺は食事処が少ないので、1日目(5/30木)は済まされて御参加ください。なお、お弁当の注文をお受けしますが、別途1,000円の料金が必要です。
- ※ 全体会等への参加の場合は○、不参加の場合は×を記入し、参加する分科会番号を記載してください。
- ※ 個人で参加される場合は、太枠のみをご記入ください。
- ※ 該当するところのみをご記入ください。
- ※ 団体の場合は、担当者様に連絡させていただきます。

申込締切日

平成25年4月24日(水)

第21回環境自治体会議ひおき会議
参加申込受付業務受託窓口 宛
F A X 0 9 9 - 2 4 6 - 5 0 5 5
(送信表は不要です)

支払金の内訳の明示および趣旨ご理解のお願い

環境自治体会議事務局長

(兼)NPO 法人環境自治体会議環境政策研究所長 中口 毅博

NPO 法人環境自治体会議環境政策研究所理事長 増原 直樹

日頃より、環境自治体会議の活動をご支援いただきまして誠にありがとうございます。

さて、環境自治体会議本体は任意団体ですが、非営利活動を円滑に進めるためには法人格が必要であることから、附属機関の環境政策研究所は 2000 年に NPO 法人の認証を受けています。

これまでも皆様から頂戴した参加費 2 万円のうちのいくらかを、開催のための全国事務局経費に充てて参りましたが、今後は参加費の一部を寄付として充当させていただくことをより明確にさせていただき、環境政策研究所は「認定 NPO 法人」をめざすことにいたしました。

もし認定 NPO 法人になれば、寄付した方は（寄付金額） $\times 40\%$ の税額控除が受けられます。たとえば 4,000 円寄付すると 800 円、8,000 円寄付すると 2,400 円が還付されます（ただし確定申告が必要です）。

これにより資金が集まりやすくなり、今まで以上に自治体間で連携した事業が進めやすくなります。また、会員自治体の中には認定 NPO 法人にはなれない小さな NPO や市民組織がたくさんありますが、今後これら団体と連携して実施し、環境政策研究所が小さな団体に代わって寄付の窓口となれば、寄付した方が税額控除を受けられるようになります。つまり地域で活動する中小の市民組織の活動も支援することができるようになります。

しかし、認定 NPO 法人になるためには、まず、過去 2 年間で 200 人からの寄付を集めなければなりません。現在の寄付者は 30 名程度であり、全国大会の参加者は毎年 200~400 人ですが、参加者の大部分の皆様が寄付をしてくだされれば、認定 NPO 法人格を取得することができ、それ以降の寄付者の皆様に税額控除証明書が発行できるようになります。もちろん来年の全国大会に来ていただく皆様も寄付額に応じて税金が戻ってくるようになります。

以上の趣旨をご理解の上、参加費等の支払いにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

県外からの一般参加者様の支払い金額 20,000 円の内訳※

大会資料代（運営費含む）10,000 円、日置市内移動費 2,000 円、

交流会費 3,000 円、分科会昼食代 1,000 円、寄付金(1 口)4,000 円

会員自治体の職員様の支払い金額 18,000 円の内訳※

大会資料代（運営費含む）10,000 円、総会資料代（運営費含む）2,000 円

日置市内移動費 2,000 円、交流会費 3,000 円、分科会昼食代 1,000 円

※部分参加の場合も事務が煩雑になるため、全額をいただいております。

※寄付部分は任意ですので、お支払いいただかなくても大会への参加は可能です。会員自治体の皆様からの寄付についてはすでに年会費制度を導入しておりますので除外しております。

「ひおき会議」のコンセプトと開催方針について

環境自治体会議事務局長 中口 毅博

拝啓、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 5 月 30 日から 6 月 1 日の 3 日間、第 21 回環境自治体会議「ひおき会議」が開催されます。事務局では、前回の勝山市での全国大会終了直後から、首長の代表からなる幹事会、専門家や会員自治体の職員からなる外部評価委員会、会員自治体の意見交換会などにおきまして、全国大会のあり方について重ねてご意見をお伺いし、さらに個別の参加者の皆様からのご意見も参考に、「ひおき会議」を以下のような方針で開催することで、開催自治体の日置市と合意いたしました。

- 大会全体のコンセプト、すなわち 3 日間で何を話し合い、どのような結論を期待するのかを明確にし、それに沿った形で 3 日間のプログラムを構成する。
- 常連の参加者の方から「毎年同じような内容の発表ばかりで、前年度から進歩がみられない」という声に応え、環境自治体会議としての 1 年間の取り組みの進展がわかるようなプログラム構成にする。その一方で、地元市民の方や初めて参加する方にもわかりやすいプログラムも用意する。
- 3 日目に参加者が激減する傾向にあることから、3 日目をより魅力的なプログラム構成にする。
- 環境自治体会議総体として昨年一昨年合意した 10 分野の共通目標の達成に活動することが最も重視すべきミッションであることから、分科会を共通目標に対応した 10 とすることを基本に、地元で力を入れてきた活動に関しては、必要に応じて特出しの分科会を設置するものとする。

具体的には、これらの方針を以下のようにプログラム構成に反映させました。

- 初日に、前年までの環境政策の動向や環境自治体会議の活動を踏まえた問題認識や課題、本大会で議論したい論点について、事務局長から問題提起する。
- 2 日目の分科会では、コーディネータと事前に論点や結論の方向性について意見交換した上で、議論の焦点が明確になるように話題提供のテーマを選定する。
- 分科会を「イントロ編＋フィールドワーク」「応用編」の 2 部構成とし、一から学習したい方や初心者の方は「イントロ編＋フィールドワーク」のみを掛け持ちができるように、より発展的な内容を知りたい方には「応用編」の掛け持ちができるような方式にする。
- 最終日の地元自治体職員による分科会報告をとりやめ、分科会コーディネータ等によるパネルディスカッションによって、分科会の結論を横断的につなぎ、すべてのテーマに共通する結論や各自自治体の取り組みの方向性や環境自治体会議が向こう 1 年間重点を置くべき活動のヒントを導き出す。

これらは一つの試みであり、今回の結果を踏まえ、次年度はさらなる改善を図っていきたいと思っております。全国大会は地元自治体や事務局だけで作り上げるものではなく、参加者が主役であると考えております。新たなコンセプトで実施する大会での皆様の積極的な参画を期待しております。 敬具